

と お か ま ち

Public Relations

市報



1 2020
/10

令和2年 1月10日号

No.334

特集



市長新春対談 (3～9 ページ)

県立十日町看護専門学校
学校長予定者 塚田芳久さん

十日町市医療福祉総合センター

始動!

主な内容

- 2 市長の年頭あいさつ
ピックアップニュース
- 10 十日町雪まつり各種お知らせ
- 11 「大地の芸術祭」の里 越後妻有2020冬
- 12 2019年の振り返り
- 14 所得税、市民税・県民税の申告のお知らせ
- 16 キャッシュレス・消費者還元事業
- 17 冬季うつ病について
- 18 2020年度越後妻有文化ホール・サポーターズ「段サポ」会員募集
連載コーナー①
- 19 地元サポーター通信
- 20 わたしの会社のいちおしワーカー
- 22 タウンピックアップ
お知らせ・ガイド
- 29 ちびっこひろば／子ども情報のひろば
- 31 健康・福祉相談、休日救急医など
連載コーナー②
- 32 小さなムラの大きなものがたり

地方から日本を元気に

十日町市長 関口 芳史

年頭にあたり、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。市民の皆さまには、日ごろより市政にご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は、時代が平成から令和へと歩みを進める中、市民の多くの希望が実現した年であり、積極的な行財政改革により、真に必要な事業を進めることのできた年でもありました。

2月には、旧中里養魚場跡地に、最新鋭のなめこ製造工場が竣工しました。新たな雇用が生まれるとともに、遊休市有財産の有効活用としても大変うれしい事業となりました。

また、当市は長年独自に保育料の減額をして県内トップクラスの子育て世代への支援を行ってきましたが、10月に3歳から5歳までの国による保育料無償化が実現しました。さらに、市立保育園の民営化も計画通りに進行し、これから生まれた財源を活用して、8月に子育て世代から一番要望の多かった「児童センターめぐらんど」を開館しました。今夏には、隣接する市民体育館と旧中央公民館の跡地に約1万平方メートルの屋外広場ができあがります。

昨年11月には、地域医療と福祉の中心的な機

能を担う「医療福祉総合センター」が完成しました。今春には、市民の長年の悲願であった高等教育機関として「新潟県立十日町看護専門学校」が開校し、秋には新潟県立十日町病院の全部開院が予定されており、地域の課題である高度医療の充実、看護師不足解消への光明になるものと期待されます。

未来につなげるインフラ整備も着実に進んでいます。昨年は、災害時に最も重要なライフラインの水道を守るため、耐震化や浸水対策を高めた新浄水場を整備しました。また、上越魚沼地域振興快速道路「十日町道路」が、総事業費620億円、国による直轄権限代行で整備されることが決定しました。今後も、八箇峠道路の全線開通および十日町道路の早期整備を促進するとともに、十日町道路へのアクセス道路となる市道高山水沢線の整備を推進します。

そして今年は、いよいよ東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されます。中里出身の服部勇馬選手が男子マラソンに出場するとともに、当市がホストタウンのクロアチア共和国の選手団が市内で事前キャンプを行います。また、塩ノ又の桜花レスリング道場で合

宿を行っている日本女子レスリングの選手の活躍も大いに期待されます。このスポーツの祭典は、子どもたちに多くの感動を与え、夢を大きく育む機会になるものと確信しています。

また、松代海老地区で始まる次期一般廃棄物最終処分場の建設を推進するとともに、秋には、松之山温泉を利用した地熱バイナリー発電所やキナーレ明石の湯バイオマス発電所が稼働します。一方で、使用済み紙おむつをペレット化し、福祉施設で給湯利用する実証事業も始まるなど、官民が力を合わせ、持続可能なまちづくりを推進します。

そして、6月に開館する新博物館では、既に建物本体が完成し、情報館との間には美しい緑の公園が完成しました。日本が世界に誇る、縄文文化や雪国文化、きものなどの伝統文化をはじめ、当市の魅力的な食文化などを積極的に発信するとともに、総合計画後期基本計画の策定を進め、「選ばれて住み継がれるまち」とおかまち」の実現に全力で取り組んでまいります。

結びに、本年が皆さま一人ひとりとりまして素晴らしい一年となりますよう心からお祈り申し上げます。



新潟県立十日町看護専門学校
学校長予定者
塚田 芳久

市長対談
第
11
弾

十日町市長
関口 芳史

対談場所：市医療福祉総合センター（令和元年11月14日完成）

看護学校が開く未来と、 十日町市で地域医療の形 望まれる

十日町市に魅力を感じ、応援してくれる人と関口市長が対談をする恒例企画。今回のお相手は、今年4月市内に開校する「新潟県立十日町看護専門学校」学校長予定者の、塚田芳久さんです。

塚田さんは平成28年3月まで県立十日町病院長として活躍され、この地域の医療の発展に尽力いただきました。今年の4月からは、再びこの地で看護師の育成、地域医療の推進などに手腕を振るっていただきます。今回、看護学校や地域医療のこと、医療・介護・福祉の連携、そして医療の未来について語っていただきました。

※文中敬称略

開校が待ち遠しい 県立十日町看護専門学校

市長―いよいよ4月、県立十日町看護専門学校が開校します。この地域を知り尽くした塚田先生から学校長に就任いただけて、とても心強いです。以前、先生からは十日町病院長としてご活躍いただきましたが、そのときから看護学校の必要性を感じていたのですか。

塚田―私は平成17年に十日町病院長として赴任し、平成28年まで11年間お世話になりました。当時は設備の整った大きい病院において、高度医療に携わることが医療の花形との考えもありましたが、この地で医療に携わり、実は地域医療こそが重要であると強く感じました。しかし、進んでこの地で働きたいという人は多くない状況や、十日町市には昭和62年まで「県立十日町病院付属看護学院」があり、そこで学んだ人たちが間もなく定年を迎えることを考えると、これからこの地の地域医療を守り、進めていくために

は、地域出身者を看護師として養成する学校がここに必要だと考えました。

市長―実際にこの構想から開校までに、ご苦労もあつたと思います。

塚田―実現には、十日町病院改築の基本計画に看護学校のことを記せたことが大きかったと思います。それも県単独でなく、十日町市と一緒に進めて学校設立を進めるという内容です。地域に根差した学校とするには、地元との協力が不可欠ですから、何よりの後押しだったと思います。

市長―一緒に進めることで、推進力にもなりました。

塚田―県単独では、「なぜ十日町市に設立するのか」という声のほかの地域から上がるかもしれない。ですが、一緒に進めることで、地元からこんな熱意があつたということを示すことができ、説得力となります。

市長―この4月には40人、そして2年後には120人の学生が、十日町市で学んでくれることとなります。まちに新たな活気生まれますね。

Yoshitumi
Sekiguchi

関口 芳史

十日町市長

看護学校の開校はまちに
新たな活気を生み、
また今までの人の流れを
変えられる可能性があります

—市長



塚田 芳久 さん

Yoshihisa
Tsukada

新潟県立十日町看護専門学校学校長予定者
(現県病院局参与・県立新発田病院長)

昭和28年栃木県生まれ。昭和54年新潟大学医学部医学科を卒業し、同大学医学部第3内科医員となる。平成7年県立新発田病院内科部長、平成8年新潟市民病院消化器内科副部長などを務め、平成17年から平成28年まで11年間、県立十日町病院長として地域医療の発展や同病院の改築と看護専門学校の設立に尽くす。

地域医療のことを真剣に
考えている受験生が多く
いて、4月が楽しみです

—塚田

市長―確かに、海沿いなどは風が吹きますので、寒く感じますね。食事などはどうされていたのですか。

塚田―十日町市はおいしいものがたくさんありましたので、外食もしましたが自炊もしました。おかげさまで、料理の腕も上達しましたよ。

市長―市民の方が病院スタッフを支えるために、「病院を応援し隊」を結成して、お弁当の差し入れをするなどの活動が行われました。素晴らしい取り組みだと思っています。

塚田―ほかにあまり例がない取組みだと思います。病院が地域に愛されているということを実感できました。十日町の人は奥ゆかしいですから、面と向かって感謝を伝えられなくても、行動で示していただいたのでしょうか。スタッフからも好評で、やりがいになりましたね。皆さんの誠意が伝わりました。

地域医療の必要性と
解決すべき課題

市長―十日町病院長であったときのことも思い出していた

大きなながら、この地域の医療についてお話しいただけますか。

塚田―私が十日町病院長としてお世話になっていたときは、ちょうど医療の転換期であったと感じています。

国も今の状況を継続していくことが非常に難しくなると予測し、平成24年に社会保障と税の一体改革が打ち出されました。また、地域医療を支えるということで多くの基金が設けられたのもこのころです。現在は令和7年を見据えてさまざまな動きがあり、「三位一体の改革」と言われていますが、地域医療構想、医療者の働き方改革、医師の偏在対策などが課題となっています。

しかし、私が赴任していた当時から、十日町市ではそれらの課題が現れつつあったため、ほかに先んじて今の医療で良いのかということを考えなければなりませんでした。そんなことを肌で感じることでできたので、貴重な11年間でした。

市長―近年では、大きな病院

も閉鎖されるという事態も起きています。国からもオーバーベッドということが言われます。

塚田―国の施策もあります。が、大きい病院が大きいままでいられなかったり、病床を少なくする病院があったり、実際に国の予測が現実化しているということもあります。

そんな中、十日町病院が中核病院として今後も継続した医療ができるよう改築できたことは、この地域にとって光明だったと思います。

市長―十日町病院があつてこそ、地元の医療機関とともにしっかりとした地域医療体制になるのだと思います。

塚田―魚沼基幹病院についてもさまざまな議論がありましたが、中核となる急性期医療を行う病院はどの地域にも必要です。結果、魚沼基幹病院は新築、十日町病院は改築されたので、魚沼地域として非常に良かったと思います。

市長―これから先50年を見据えた中で、ハード面はしっかりしましたね。一方、ソフト面はいかがでしょうか。

塚田―活気のあるまちをつくるには、若い人に輝いてもらわなければなりません。また、仕事を持つ、産業に携わることは、将来の基盤になるところです。職能を身に付けるという学校に若い人が来ることは、活気のある話題です。

市長―今までは市外に進学・就職して、そのまま故郷へ戻ってこないというケースが多かったのですが、看護学校の開校でその流れを変えられる可能性ががあります。また市外から来てくれる学生が、十日町市を気に入って住んでくれることもあるでしょう。

塚田―喜んで受け入れてくれるというその気持ちは、学生にとつても非常に心強いと思います。

市長―そう感じていただけるように、全力で取り組みます。ところで、新しい看護学校の建物に入ってみた感想はいかがでしょう。

塚田―清潔感があつて、医療者としてのスタートに最高の環境ではないかと思います。

市長―病院と見まがうような模擬病床や訪問看護実習のた

めの模擬設備があり、広い図書室もあります。学校をつくるということは、皆さんの英知が結集しているものだと感じました。完成した学校を見て、感慨深かったです。

塚田―かつての看護学校のイメージはありませんね(笑)。

2年後には看護教育の力リキュラムが変わる予定です。そこでは、子ども・成人・高齢者と全世代にわたる在宅医療について学ぶものになり、より地域医療を理解するため内容になります。

医療者も、若いときは救急・高度医療などが魅力的に映ることもあります。しかし、そんな中にも将来を見据え、地域医療を志す学生もいます。看護学校の試験で面接していると、地域医療をきちんと考えている人が多かったです。昨年8月の学校説明会で、教育方針などを話したのですが、こちらの考えが浸透していることが分かり、4月からが楽しみです。

市長―学校説明会に出席した学生から、先生の講演に感動したという話を聞きました。

そんな学生たちが、この地域の人たちと仲良くなって、この地で働いてくれたら本当にうれしいですね。

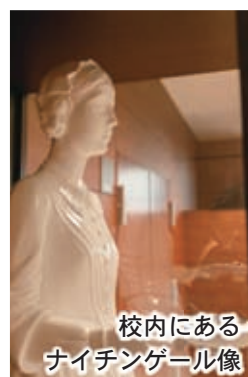
雪の美しさに感動
十日町市での日々

市長―十日町病院長としてご活躍中、十日町市での暮らしはいかがでしたか。

塚田―赴任した年は、豪雪の年でした。改めて雪国に来たなど実感しましたね。

市長―「平成18年豪雪」ですね。確かにあの年は12月から相当雪が降りました。

塚田―朝、駐車場に車を止めると、夕方には雪でどこに車を止めたか分からなくなりました(笑)。ですが、私はあの雪の白さを美しく感じ、感激しました。また、ここは風が吹きませんので暖かく、個人的には過ごしやすかったですね。



～いのちと生活を護る看護師になろう～

新潟県立十日町看護専門学校

3年課程	1学年定員40人
------	----------

【教育理念】

県内の医療機関および地域で活躍する看護師を養成することを目的とし、人間のいのちの尊厳を基盤とする豊かな人間性と幅広い看護実践能力を有した人材を育成する。



【教育目的】

看護師になろうとするものに対し、看護専門職としての必要な知識、技術を教授する。また、いのちの尊厳を重んじ、自然豊かな越後妻有の地で人間性を培い、主体的に学び、広く社会に貢献できる看護師を育成することを目的とする。



●所在＝十日町市高田町3丁目南442番地／十日町市医療福祉総合センター内（県立十日町病院北側隣接）

☎県病院局業務課県立看護専門学校設立準備班（十日町地域振興局内・☎757-5900）



医療福祉総合センターと医療・福祉・介護の連携

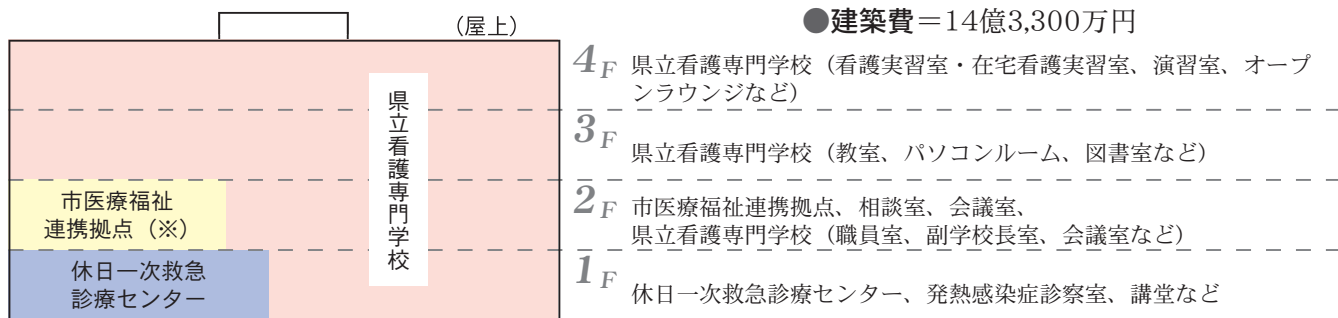
市長―当市では介護の分野で頑張っていたいただいている方が多数います。そのご尽力もあってか、私は医療と介護のバランスも良くなっているのではないかと感じています。

塚田―国も医療と介護の連携について話をしています。実際には医療保険、介護保険とそれぞれ保険制度が違うことなどから、難しい部分もありますが、実現するためには、それぞれで手を取り合い、情報交換しなければなりません。本来的には、医療にかかったときに情報を取り、それを「地域包括ケアシステム」で共有し、介護の分野と連携し



医療福祉総合センターは時代を先取りしたものだと思います―塚田

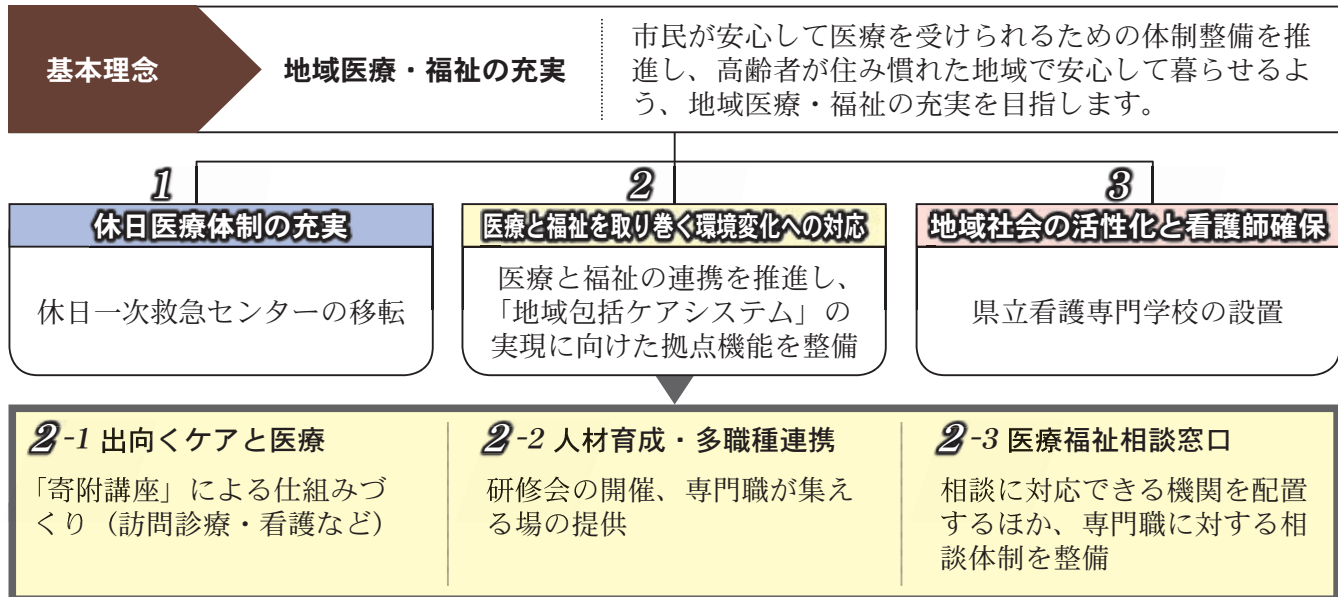
市医療福祉総合センターの概要



概略立面案内図（北側から）

※市医療福祉連携拠点に入る関係機関（調整中）
市役所（医療・福祉部門の一部）、新潟大学寄附講座、つまり医療介護連携センター（医師会）、在宅歯科医療センター（歯科医師会）、地域包括支援センター（高齢者関係）、基幹相談支援センター（障がい関係）、社会福祉協議会の一部（生活支援部門）、県立十日町病院地域連携室の一部

●機能体系について



塚田―重要なことは3点です。一つは普段通う医療機関としてのアクセスの良さ、次に、万が一のときの救急医療があること、そして最後が住み慣れたまちで最期を迎えるための看取りがあること。この地域は救急医療に関しては、十日町病院があります。ですので、これからは「再検証病院」に挙げられた病院経営が厳しい病院でも、アクセスの良さを失わせないということが重要です。さらに、そこに看取りの場があれば、市民の方は今までと同じように病院に通い、最期を迎えることができる。この継続した医療こそ、地域の人たちにとって、この地に住み、一生を過ごすことができるという安心になります。

市長―昨年10月から、新潟大学と3年間にわたって「寄附講座」を開設することになりました。この地域でフィールドワークを行っていたいた先生や、国際的に活躍された先生からお越しいただき、塚田先生がおっしゃったこの地域のあるべき医療のために課

題をどう解決するか、研究を進めていただいています。

塚田―医療にも学問が必要で、診療だけでなく、医療を設計するという部分でも大切な取り組みです。そういった先生方の研究データは、この地域の医療に何が必要なのかなどを、我々に示してくれまです。これはどの地域でも欲しいデータなのですが、それらをいち早く寄附講座という形で取り込んだ十日町市は、先見の明があると感じしています。

市長―そこまで言っていただけ、光栄です。この地域は数々の災害に見舞われ、その都度、少なからぬ高齢者の方たちは子どもなどを頼ってこの地を離れました。しかし、やはり住み慣れたところで天寿を全うしたいと、十日町市へ戻ってくる人もいます。そんな話を聞き、どう応えることができるのかを考えました。私が子どものころ、かぜなどをひいたとき先生から来訪いただき診察してもらい、安心したことを覚えています。子どものときに感じた、そんな

な「温かい医療」ができないのか、そんな思いがあります。

塚田―「顔が見える」ということは、何よりの安心になりますので、地に根を下ろした医療者が必要です。ただ、医師の偏在化は簡単に解決できません。人口の少ないところは医師も少なくなりますので、「充実感のある医療ができる」と医師から選ばれる地域になることが重要です。そのためには、地域の理解を進めなくてはなりません。医師の負担をある程度分担するため、それらを埋めることができる看護師などの人材を増やすことも必要ですね。

市長―そういった面で、看護学校の開校は本当にありがたいです。ところで、地方における民間ベースでの病院経営は採算性が疑問視されることもあります。そんな地域は、やはり公的機関が医療を担うべきと思うのですが、先ほど話に出た「再検証病院」として名前が挙げられた病院がある地域の医療は、どうなってしまうのでしょうか。

では、発表や報道について適切であったか、疑問に感じるところもあります。ですが、その後の国の説明では、急性期病院として届け出をしているところで、本当に急性期医療を行っているかで選んだとのことで、地域の医療機関として不適格・失格という内容ではないのです。したがって、ここに名前が挙がっても、何ら恥じることはないと思います。南北に広く、中山間地や豪雪地がある新潟県において、アクセスの良い外来病院を減らさないためにも、閉鎖などにつながってはなりません。私は地域医療構想のアドバイザーで、いろいろな会議にも出席しますが、名前が挙がった病院も地域の人も不安に思わないでほしいと伝えています。

ただ、医療機関も経営のことを考えると、空いている病床があるときは適切な規模に見直すなど、貴重な医療資源を無駄にしないような努力をしなくてはならないですね。

【用語解説】

- 急性期医療＝病気の発症から回復期や亜急性期へ移行するまでの期間における医療を指し、「病気の進行を止める」、「病気の回復が見込める目処をつける」までをいう
- 再検証病院＝昨年9月、厚生労働省が地域医療構想に関する具体的対応方針の再検証が必要として公表した、424の公立・公的医療機関など（詳細は対談本文も参照）

- 地域包括ケアシステム＝高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援を目的とし、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域の包括的な支援・サービスを提供できる体制（令和7年を目途に構築を推進）

※参考：厚生労働省ウェブサイトなど

ネットワークでなければなりません。どんなにたくさんの人を配置しても、心が入っていなかったり、理解していかなかったりすれば、ただの理想にしか過ぎません。「ケア」とは人と人との関係性の中にあるもので、それが看護のあの介護につながっていく。医療は出発点であり、その先に福祉、保健といったものにつながり、はじめて地域全体の医療や福祉が成り立っているのだと思います。



市長―それが、今回の医療福祉総合センターと結びつくわけで、大げさかもしれませんが

がこの場所をその集大成としたいと考えています。塚田―最近、国も介護予防と医療を合わせて進めています。そういった意味で、先取りしたものであると思います。市長―ありがたいごさいます。我々の考えが間違っていないかったのだという自信になります。

十日町市の医療の強み そしてこれから必要なモノ

塚田―かつては県立病院の中で、十日町病院は病床数からすると、平均、ともするとそれより少し下でした。ですが今は、県立中央病院、新発田病院、がんセンターに次いで、4番目の病床数となっています。これは十日町病院の病床数が増えたわけではなく、病床数を減らす病院が多い中で、これまでの数を保っていることによるものです。今後もうとして十日町病院が急性期病院としてあり続けていけば、「この地域には医者が集まる」ということになるかもしれません。

市長―それは素晴らしいこと

ですね。聞けば、十日町病院を目指す若い医師が多いのだとか。

塚田―以前の十日町病院では臨床研修医をマッチングするのがやっとだったのですが、ここ3年は連続してマッチングできています。今年は複数人に来ていただく予定です。

市長―そんな良い状況になった要因は何なのでしょう。

塚田―長年ここで培われた医療について、今ここで働いている医師の皆さんが、見学に来た医学生たちにPRして共感を得られたということですね。

市長―取り組んできたことが、結果したということですね。

塚田―そのとおりです。十日町病院にはたくさんの方の医学生は見学に来ないのですが、そんな状況でも研修医のマッチングができています。これは、十日町病院は選ばれた病院であるということです。

市長―私たちは「選ばれて住み継がれるまち」とおかまちの実現に向けて、市政を推進しています。「選ばれる」ということは非常にありがた

ができ、貴重な時間となりました。これからも塚田先生にはお世話になりますが、よろしくお願いします。

【用語解説】

●5G（第5世代移動通信システム）＝高速・大容量、多接続、低遅延などの特徴があり、高精細かつ高臨場感のある映像の伝送や自動運転サポート、遠隔医療などの実現が期待される次世代無線通信の規格

取材協力：新潟県病院局業務課
県立看護専門学校設立準備班
対談写真：山田努（サンタ・クリエイト）撮影

「選ばれる」ということは非常にありがたく、うれしいです。尽力いただいた皆さんに感謝いたします
―市長

令和2年度 市内で働く看護師など修学生を募集します

対 令和2年度に、以下の養成施設に進学または在学する人で、将来十日町市内でその業務に従事しようとする人（市の奨学金を受けていないこと）

看護師	作業療法士
准看護師	言語聴覚士
保健師	社会福祉士
助産師	介護福祉士
理学療法士	精神保健福祉士

とおかまちで花開く
私たちの未来

- 貸与月額＝25,000円
- 貸与期間＝令和2年4月から最短修業年限の終わりまで（無利子）
- 提出書類＝貸与申請書・健康診断書・保証書・口座振込申込書（以上、市ホームページから入手可）・学業成績表

他養成施設卒業後に資格を取得し、引き続き十日町市内でその業務に従事したときは、その期間などにより修学資金の返還が免除されることがあります。詳しくは問い合わせてください。

※2月28日(金)

申・問医療介護課 医療介護連携係
(☎757-9758)

く、うれしいことです。これまで一朝一夕ではない、塚田先生をはじめ、関係者の皆さんのご尽力に感謝をいたします。

塚田―そうですね。一人二人の努力ではありません。地域をあげて取り組んだ成果だと思います。

市長―我々も医師の支援制度を設けているのですが、最近開業していただける方も多く、ありがたいと感じています。

塚田―なかなかそんな支援はありませんので、素晴らしいですね。

市長―いろいろな役割を果たしていた、医療者・介護者が増え、地域医療の厚みが出るのが、市民の安心につながると考えています。

塚田―これから中核病院に備わる医師派遣機能が動けば、さらに今までなかった診療ができるようになります。縮小どころか、より充実した医療が受けられるようになりますので、地域でしっかりと体制を整備することが大切です。市長―これからの5G社会

ではAIやIoTなど、新たな科学技術が医療にも活用されることが期待されていますね。

塚田―電子カルテをはじめとする医療情報や健診データ、レセプトデータ、それらを全て統合して、マイナンバーと連携して活用できる法律がすでに施行されています。これからその整備が行われるのですが、この地域では「うおぬま・米ねつ」とに乘せて行けば良いと思っています。

市長―今あるものを活用できるということですね。

塚田―そうです。県でも、国の方針に従い検討に入っていますので、その先の各市町村まで浸透していく足掛かりになれば良いと思います。

市長―話は変わりますが、総合診療医というものを聞いたことがあります。そのような志をもった医師の方はどのくらいいらっしゃるのですか。塚田―医学を追及すると、全てが分かるようなりたいと思います。ですが、テレビに出てくるようなスーパードクターに

「大地の芸術祭」の里 越後妻有2020冬 SNOWART

アートによる雪ふる里を満喫しよう！

▼会 期＝2月15日(土)、16日(日)、22日(土)、23日(日)、24日(祝)、29日(土)、3月1日(日)
▼問合せ＝「大地の芸術祭」の里総合案内所 ☎761-7767



▼開催期間＝ページ最上段の会期同様
▼時間＝午前10時～午後4時
▼500円、小中学生300円
▼参加作家＝磯崎道佳、長谷川仁、雪アート・新潟ユニット、堀川紀夫、まつだ案山子隊

まつだ案山子隊
「農舞台」野外会場

▼開催期間＝1月18日(土)～3月22日(日)
※水曜休館
▼時間＝午前10時～午後5時
▼800円、小中学生400円
▼参加作家＝深澤孝史、開発好明、YORIKO、鞍掛純一、Re Building Center JAPAN

越後妻有里山現代美術館
「キナーレ」

雪遊び博覧会

雪をテーマとした企画展が登場。親子で夢中になれる楽しい作品が盛りだくさんです。

ほかにイベント、ツアー、ワークショップが多数あります。詳しくは大地の芸術祭の里ホームページ (<http://www.echigo-tsumari.jp>) をご覧ください。

▼参加作家＝高橋匡太 (Gift for Frozen Village)、mica bando (音楽)
▼留意事項＝自家用車での来場はできません。十日町駅西口などから、無料シャトルバスを運行する予定です。詳細はホームページなどで確認してください。

参加作家＝高橋匡太 (Gift for Frozen Village)、mica bando (音楽)

▼開催期間＝1月18日(土)～3月22日(日)
※水曜休館
▼時間＝午前10時～午後5時
▼800円、小中学生400円
▼参加作家＝深澤孝史、開発好明、YORIKO、鞍掛純一、Re Building Center JAPAN

越後妻有雪花火
「ギフトフォーフロズンヴィレッジ」

雪原を彩る「光の花畑」が幻想的な空間を演出します。雪上花火では世界最大の三尺玉が夜空に輝き、越後妻有の夜を鮮やかに照らします。※天候により花火の打ち上げを中止することがあります



2019年度日本博を契機とする文化資源コンテンツ創生事業
雪花火主催：文化庁・独立行政法人日本芸術文化振興会



Photo by Ayumi Yanagi

屋台出店者を募集

雪花火会場で地元食材を使った屋台を出店する店、団体を募集します。詳しくは問い合わせてください。

1月24日(金)
1月26日(日)
1月27日(月)
1月28日(火)
1月29日(水)
1月30日(木)
1月31日(金)
2月1日(土)
2月2日(日)
2月3日(月)
2月4日(火)
2月5日(水)
2月6日(木)
2月7日(金)
2月8日(土)
2月9日(日)
2月10日(月)
2月11日(火)
2月12日(水)
2月13日(木)
2月14日(金)
2月15日(土)
2月16日(日)
2月17日(月)
2月18日(火)
2月19日(水)
2月20日(木)
2月21日(金)
2月22日(土)
2月23日(日)
2月24日(月)
2月25日(火)
2月26日(水)
2月27日(木)
2月28日(金)
2月29日(土)
3月1日(日)
3月2日(月)
3月3日(火)
3月4日(水)
3月5日(木)
3月6日(金)
3月7日(土)
3月8日(日)
3月9日(月)
3月10日(火)
3月11日(水)
3月12日(木)
3月13日(金)
3月14日(土)
3月15日(日)
3月16日(月)
3月17日(火)
3月18日(水)
3月19日(木)
3月20日(金)
3月21日(土)
3月22日(日)
3月23日(月)
3月24日(火)
3月25日(水)
3月26日(木)
3月27日(金)
3月28日(土)
3月29日(日)
3月30日(月)
3月31日(火)



越後妻有2020冬 共通チケット



各施設共通チケットと、雪花火も鑑賞できるチケットの2つを用意しました。

▼販売場所＝十日町駅観光案内所、キナーレ、農舞台、越後妻有オンラインショップほか

▼料金＝下記のとおり (いずれも小学生未満無料)
・共通チケット：2,000円、小中学生500円
・雪花火鑑賞つき：3,500円、小中学生1,200円

▼有効期間＝1月18日(土)～3月22日(日)

このコーナーでは、市の魅力発見や、皆さんの生活に直結する情報などをお知らせします



十日町雪まつり公式HP



<http://snowfes.jp>



第71回

十日町雪まつり

■開催日＝2月14日(金)・15日(土)・16日(日)
■問合せ＝十日町雪まつり実行委員会事務局 (☎757-3100)

プレイガイド

- 十日町雪まつり実行委員会事務局 ☎757-3100 (電話予約・窓口販売)
- 越後妻有文化ホール「段十ろう」 ☎757-5011 (窓口販売)
- 十日町市総合観光案内所 ☎750-1277 (窓口販売)
- ※ほか e+ でも販売予定

※小学生半額、未就学児入場不可
●開演＝午後1時30分～※開場午後1時
●越後妻有文化ホール「段十ろう」
●3千円 (中学生以上、税込・全席指定)
●小中学生半額、未就学児入場不可



森麻季「音の美術館」

雪まつりスペシャルステージのお知らせ 2月15日(土)開催

森麻季「音の美術館」



森麻季「音の美術館」

森麻季「音の美術館」

森麻季「音の美術館」

森麻季「音の美術館」

森麻季「音の美術館」

雪まつりに伴う駐車場利用に関するお願い

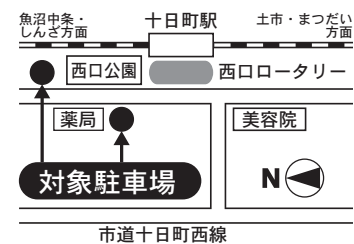
該当期間中に下記駐車場を利用するときは、協力金をお願いします。

●対象＝十日町駅西口公園の北側および道を挟んで西側駐車場 (下図参照)

●期間＝2月15日(土)午前9時～午後9時30分、16日(日)午前9時～午後3時30分

※準備などのため、2月14日(金)午後5時～15日(土)午前9時、15日(土)午後9時30分～16日(日)午前9時の間駐車場を封鎖します

¥1回500円



大地の芸術祭アーティストも参加決定！

バルーンの巨人が出現したり、和太鼓集団「鬼太鼓座」の公演などが行われたりします。詳しくは問い合わせてください。

雪上アクティビティ参加者募集

第31回ツマリアンボール選手権大会

3チーム同時に対戦する雪上バレーボールです。

2月16日(日)

十日町高校南側特設会場

1チーム4千円 (応募多数のとき抽選)

1月27日(月)午後5時必着

ページ最上段の問合せ先へ

新規アクティビティにも注目

新たに「雪玉サバイバルゲーム」(団体戦)や、「雪上チャンバラ SASEN」(個人・団体戦)なども開催予定。参加方法ほか、詳しくは雪まつりホームページをご覧ください。

2019年の振り返り

市民の多くの希望が実現できた1年となりました

問合せ：企画政策課広報広聴係 ☎757-3112

元号が令和に変わり、新しい時代のスタートとなった2019年。そんな中、子育て世代から要望の高かった児童センター「めぐらんど」がオープンしたほか、上越魚沼振興快速道路「十日町道路」が国により整備されることが決定するなど、市民の多くの希望が実現した1年となりました。

さらに今年、新潟県立十日町看護専門学校が開校し、新博物館もオープンします。これらにより、当市に新たな活力と人の流れが生まれることが期待されます。引き続き「選ばれて 住み継がれるまち とおかまち」の実現に向けて取り組んでいきます。

1月

- 中里中出身の服部勇馬選手・弾馬選手の凱旋報告会（2日／クロステン）（勇馬選手が福岡国際マラソンで優勝、弾馬選手が日本陸上競技選手権男子5000mで優勝したことによる）

2月

- 第56回全国中学校スキー大会クロスカントリー競技（4日～7日／吉田クロスカントリー競技場）①
- スレーワージェン駐日ベルギー大使が十日町雪まつりを視察（15日）
- 十日町雪まつり雪上カーニバル中止、段十ろうでライブステージ開催（16日）②
- 「宥松之山きのこ」のきのこ工場竣工（27日／旧中里養魚場跡地）③
- 佐藤利幸元松之山町長逝去（27日）

3月

- 台北駐日経済文化代表処の謝長廷代表が「越後妻有 雪花火」などを視察（2日）
- 「日本博」旗揚げ式開催（3日／国立劇場）
- 西村康稔内閣官房副長官が国宝・火焰型土器を視察（10日／博物館）
- 大羽昭仁氏による講演「縄文レストランで十日町が稼ぐ観光と未来をつくろう」（15日／中条小）
- 新・十日町浄水場運用開始（28日）④
- 「しらうめ保育園」竣工（30日）
- 国宝・王冠型土器No.15の高精細レプリカ完成（31日）

4月

- 上沼道「十日町道路」直轄権限代行による新規事業化決定（1日）
- 十日町地域消防本部で高規格救急車運用開始（1日）
- 新潟県議会議員選挙で尾身孝昭氏、小山大志氏が当選（7日）

5月

- 「令和」改元（1日）
- ヴァルマ駐日インド大使が「インド祭in十日町」にて特別講演（6日／段十ろう）
- 新潟県選挙管理委員会連合会総会・都市監査委員会定期総会（9日／ホテルベルナティオ）
- 鈴木一郎氏が第9代十日町市議会議長に就任（14日）
- 教育委員会にて「第2次十日町市立小・中学校の学区適正化に関する方針」決定（30日）
- 「堀之内阿弥陀如来坐像」、「上野諏訪社幟旗」が市文化財に指定（30日）
- 小中学校の教室にエアコン設置完了（31日）

6月

- 東京国立博物館品川欣也考古室長による国宝指定20周年記念講演「縄文の美を捉える」（1日／段十ろう）⑤
- 「清津倉庫美術館」と「段十ろう」が東京建築賞を受賞（16日）

7月

- 東京23区から移住し、就業した人向けの支援制度開始（1日）
- 新博物館竣工、引き渡し（4日）⑥
- サッカー U-19日本女子代表候補キャンプ合宿（8日／クロアチアピッチ）
- 第25回参議院議員選挙（21日）
- 「絵本と木の実の美術館」10周年記念イベント（27日）

8月

- 日本博事業「日本の美への誘い展」開催（8日～9月20日／段十ろう・博物館）
- 清津峡溪谷トンネルで1日の最高入坑者数5,041人を記録（12日）⑦
- クロアチア共和国柔道選手団テストイベント事前キャンプ（21日～26日）⑧、空手選手団（29日～9月5日）、テコンドー選手団（9月7日～11日）／全て中里アリーナ
- 児童センター「めぐらんど」オープン（21日）⑨
- 野村万作・野村萬斎による「真夏の笑い祭典in段十ろう」開催（23日）
- 中里地域初の市営バス（清田山線、東田沢線）運行開始（26日）
- キナーレ明石の湯熱電併給システム整備事業基本協定締結（30日）
- 国立民俗博物館山田康弘教授による「国宝指定20周年・博物館開館・友の会設立40周年記念講演会」（31日）

9月

- 服部勇馬選手がマラソングランドチャンピオンシップで2位となり、東京オリンピック男子マラソン代表に内定（15日）。凱旋報告会（10月17日／段十ろう）⑩
- 第34回国民文化祭・いがた2019、第19回全国障害者芸術・文化祭にいがた大会開幕（15日～11月30日）。市内では6事業を展開：十日町小唄日本一優勝大会・歴代優勝者大競演会（21日・22日）、ゴスペルの祭典IN新潟（10月6日）、安吾フェスin十日町（10月19日・20日）、笹山遺跡出土品国宝指定20周年記念シンポジウム「縄文の国宝」（11月9日）、まちなか×GAKUENSAI2019（11月10日）、きもの祭典in十日町（11月23日）⑪／段十ろうほか

10月

- 猛暑によるコシヒカリ一等米比率の低下
- 消費税10％に引き上げ（1日）
- 「大地の芸術祭実行委員会」が観光庁長官表彰（1日）
- 国による幼児教育・保育の無償化開始（1日）
- 新潟大学・十日町市「十日町いきいきエイジング講座」協定締結（1日）
- 日本銀行佐久田健司新潟支店長による観光講演（9日／クロステン）
- 第175回北信越市長会総会（10日～11日／ホテルベルナティオ）
- 台風第19号により十日町市警戒本部設置、第43回生誕地まつり中止（12日）
- 「本ノ木・田沢遺跡群」が国史跡に指定（16日）⑫
- 「知事と一緒に車座トーク」（18日／クロステン）
- 公民館70周年記念式典・郷土芸能大会（24日／段十ろう）
- モンゴル国エルデネット市ヘロータリ除雪車無償譲渡（25日）⑬

11月

- 松代小学校の学校給食が文部科学大臣表彰（7日）
- 「県営農地環境整備事業当間地区」竣工（7日）
- 医療福祉総合センター竣工、引き渡し（14日）⑭
- 「第5回小中一貫教育小規模校全国サミットin十日町」（16日／まつのやま学園）
- 市街第14・15計画区（高山2・3・4丁目ほか）地籍調査事業完了（18日）
- 国指定重要文化財「松茸神社本殿」大規模修繕完了（20日）
- 緑道「緑の広場」整備工事完了（27日）

12月

- 市道野田栄町線道路改良工事竣工（1日）
- 「第2期 十日町市人口ビジョン」策定（2日）
- 十日町農業協同組合グループと包括的連携協定締結（5日）
- 松之山留山ダム供用30周年記念・大規模改修工事竣工（7日）
- 「大沢川」河川改修工事竣工（13日）
- 「認定こども園あおのもり」竣工（21日）
- 松之山温泉地熱バイナリー発電事業契約締結（24日）



①



②



③



④



⑤



⑥

所得税、市民税・県民税の申告のお知らせ



早期の準備で確実な申告を

問合せ：税務課市民税係 ☎757-3716

市民税・県民税の申告相談会

申告期間：2月17日(月)～3月16日(月)

申告相談を希望する人は各会場にお越しください（各会場の地区割は市報2月10日号に掲載予定）。毎年、相談会場は混雑します。待ち時間短縮のため、事前に収支内訳書や医療費控除の明細書などの作成をお願いします。市民税・県民税申告書は、1月下旬に市役所・各支所・各公民館、商工会議所、各商工会に配置します。

●会場・日程＝各会場とも、受付は午前8時45分～11時30分、午後0時45分～3時30分

会場	日程（土・日曜を除く）
十日町保健センター（市役所本庁舎隣）	2月17日(月)～3月16日(月)
川西支所	3月10日(火)～3月13日(金)
中里支所	2月18日(火)～2月21日(金)
松代支所	2月25日(火)～2月28日(金)
松之山支所	3月3日(火)～3月6日(金)

●申告時に必要なもの

対象		必要書類など
申告者全員		認め印、マイナンバー確認書類および本人確認書類、所得税の還付を受けるときは申告者名義の金融機関口座がわかるもの
所得に関するもの	給与・年金所得者	源泉徴収票（コピー不可）、支払証明書
	事業(営業・農業)・不動産所得者	収支内訳書（あらかじめ作成してください）
控除に関するもの	社会保険料控除	国民年金保険料控除証明書、領収書、社会保険料控除証明書など
	生命保険料控除 地震保険料控除	控除証明書
	医療費控除	医療費控除の明細書またはセルフメディケーション税制の明細書（あらかじめ作成してください）
	障害者控除	障害者手帳や福祉事務所長などが発行した認定書など
	寄附金控除	寄附金の領収書または証明書

※上記以外に書類があれば持参

市民税・県民税の事前相談会

収支内訳書や医療費の明細書など申告書類の作成に困っている人を対象に、事前相談会を開催します。希望する人は、必ず下表の予約・問合せ先に日時・内容などを伝え、予約して来場ください。青色申告をする人は、十日町税務署または近くの青色申告会に相談してください。

●会場・日程＝各会場とも、相談時間は午前9時～正午、午後1時～4時

会場	日程	予約・問合せ先
川西支所	2月12日(水)、13日(木)	川西支所市民課 ☎768-4956
中里支所	2月3日(月)、4日(火)	中里支所市民課 ☎763-2513
松代支所	2月5日(水)、6日(木)	松代支所市民課 ☎597-2221
松之山支所	2月7日(金)、10日(月)	松之山支所市民課 ☎596-3152

●必要なもの＝営業・農業・不動産の収入および必要経費の分かる書類、医療費の領収書
※申告書の作成について相談する人は、源泉徴収票など申告に必要な書類を持参



税理士による無料相談

少額な申告相談および申告書の作成を、右表のとおり無料で行います。必ず事前に電話で予約を行ってください。内容によっては、低額の料金が必要になることもあります。

●予約電話受付時間＝午前9時30分～午後4時
☎関東信越税理士会十日町支部 ☎765-2542

●日程など（表中敬称略）

2月	氏名	所在地	電話番号
4日(火)	税理士法人ツトム会計	西本町3	752-3122
	高橋昇男税理士事務所	美雪町3	757-8750
	今出川景税理士事務所	千歳町3	757-3151
5日(水)	税理士法人杵渕会計十日町事務所	本町西1	757-2144
	水落雅史税理士事務所	寿町2	757-2548
	酒井栄一税理士事務所	西本町2	757-8421
6日(木)	金沢正文税理士事務所	水沢3	755-5390
	大口康幸税理士事務所	津南町	765-2542
	和久井工税理士事務所	本町6の1	752-2073

十日町税務署からのお知らせ

申告書の作成は自宅などからの e-TAX・スマートフォン申告が便利ですが

イータックス

国税庁ホームページ「確定申告書等作成コーナー」で、自宅などのパソコン・スマートフォンなどから申告書を作成することができます（国税庁ホームページ：https://www.nta.go.jp）。初めての人でも操作がしやすい画面となっていますので、ぜひ利用してください。なおスマートフォンからの申告は、利用できる対象が給与所得および年金所得などの一部の人に限られますので、注意してください。

作成した申告書は、パソコンからはマイナンバーカードとICカードリーダーライタを準備すればe-TAXで送信ができ、マイナンバー

カード対応のスマートフォンでも、マイナンバーカードがあれば、同様にe-TAXで送信できます。

このほか、税務署職員との対面により本人確認を行った後に発行される「ID・パスワード方式の届出完了通知」に記載されたID・パスワードがあれば、パソコン・スマートフォンなどのいずれからでもマイナンバーカードがなくてもe-TAXで送信することができます。

e-TAXが利用できない人も、作成した申告書を印刷し、税務署に郵送などで提出できます。

申告書や申請書などにはマイナンバーの記載が必要です

令和元年分所得税などの確定申告や令和2年度住民税の申告書には、前年分と同様にマイナンバーの記載が必要です。また、申告書を提出するときには、本人確認書類の提示、または写しの添付が必要です。

【本人確認書類】

- マイナンバーカード
- 通知カードなど番号確認書類と運転免許証など身元確認書類（マイナンバーカードを持っていない人）

※e-TAXで申告書を提出すればマイナンバーの本人確認書類の提示は不要

所得税・個人消費税・贈与税の確定申告について

税務署に次のとおり申告会場を開設します。開設日までは相談スペースが限られるため、相談まで時間がかかることがあります。

☎十日町税務署 1階会議室

●期間＝2月17日(月)から3月16日(月)まで

●受付時間＝午前8時30分～午後4時まで

※相談時間は午前9時から、土日および祝日を除く

●電話による問い合わせ＝不明な点などは、電話で問い合わせることができます。

☎十日町税務署（代表・☎752-3181）

※電話がつながると音声案内が流れますので、確定申告に関する問い合わせは、電話機の「0」を押してください



冬季うつ病について



あなたのこころは元気ですか？

●●●●●問合せ：健康づくり推進課成人保健係 ☎757-9764



キャッシュレス・消費者還元事業



キャッシュレス決済を活用してみませんか

●●●●●問合せはそれぞれに記載

冬季うつ病を疑うサイン

- | | |
|--|--------------------------|
| ① 普段より睡眠時間が長くなったり、朝起きられなくなったりする。 | ☐ |
| ② 食欲が増す。 | ☐ |
| ③ 気分が沈む・落ち込む。ふとしたことで泣いてしまう。 | ☐ |
| ④ やる気が起きない。つい自分を責めてしまう。 | ☐ |
| ⑤ 頭痛、肩こり、体の動きにくさ、だるさがある。内科にかかったが「特に悪いところはない」と言われた。 | ☐ |
| ⑥ 物事の順序が考えられない。物事に集中できない。 | ☐ |
| ⑦ 仕事・家事など、以前できていたことができなくなった。 | ☐ |
| ⑧ 飲酒量が増えた。 | ☐ |

このような状態が続くと、うつ病のリスクが高まります。症状が2週間以上続いているときは、専門医に相談しましょう。

冬季は注意

日照時間が短くなるため、気分や感情をコントロールして心の安定を保つ脳内ホルモンである「セロトニン」の分泌が不足し、体内時計の調整がうまくできなくなり、次のようなことが起こりやすくなります。

- 体温・血圧・呼吸などの自律神経リズムや休息・活動や睡眠・覚醒のリズム、ホルモンの分泌などが乱れる
- 疲れやすい、食欲が抑えられない、気力が落ち込むといった症状が現れやすくなる

そうならないために…

こころを元気に
保つために、規則正しい
生活を心がけましょう

うつ病はこころの風邪といわれ、誰もがかかる恐れのある身近な病気です。特に、秋から冬の間（10月～3月ごろ）に日常生活に支障をきたすほどのうつ症状は「冬季うつ病」と呼ばれています。早めに関心して対処すれば回復します。我慢せずに相談しましょう。

こころの相談窓口

新潟県こころの健康ダイヤル

毎日24時間、相談を受け付けています。

[ナビダイヤル] なやみ なしにいがた

☎ 0570-783-025

こころの相談会

精神科医や臨床心理士に相談できます。人間関係や家庭問題などで悩んでいる人、不眠や気分の落ち込みがある人などの相談に応じます。相談は無料・予約制で、秘密は守られます。

☎健康づくり推進課（☎757-9764）

または十日町保健所（☎757-2402）

このほか、市の保健師や保健所の精神保健福祉相談員も随時相談に応じます。詳しくは、健康づくり推進課・各支所市民課・十日町保健所へお問い合わせください。

重要ポイント

冬季うつ病の 予防・改善のために

① 規則正しく生活し、太陽の光を浴びる

太陽の光を浴びることで体内時計がリセットされます。それが難しいときは、部屋の照明を明るくするなどの工夫をしましょう。

② トリプトファンを多く含む食品を摂取する

セロトニンは「トリプトファン」と呼ばれる必須アミノ酸で、

人間の体内では作ることができないため、食事で摂取することになります。肉類・魚類・ナッツ・豆乳・乳製品をとり、セロトニンの量を増やす努力をしましょう。

③ 運動を取り入れる

運動をすると、脳から抗うつ作用のあるホルモンが分泌され、症状の改善が期待できます。また、晴天時にウォーキングをして太陽の光に当たることで、体内時計の調節ができるようになります。

キャッシュレス決済とは

現金を使用せず、買い物や料金の支払いを行うことです。クレジットカード、デビットカード、電子マネー（プリペイド）、スマートフォン決済（QRコードほか）など、さまざまな手段があります。

昨年10月1日から、消費増税対策として行われている同事業。消費税率引き上げ後の9か月間（今年6月30日まで）に限り、事業対象店舗においてキャッシュレス決済で支払いをしたとき、消費者に最大5%のポイント還元が行われます。内容を知り、買い物などに活用してみませんか。



Q／どの店舗でポイント還元が受けられますか？

A／この制度に登録された中小・小規模店舗での買い物対象です。対象店舗には本制度のロゴ入りポスターが貼られ、事業ホームページでも対象店舗を公表しています。

Q／持っているクレジットカードが対象なのかどうかは、どう確認すればいいですか？

A／当事業ホームページで確認いただくか、カード会社（またはカードを発行している決済事業者）へ問い合わせてください。

キャッシュレス決済のよくある質問

Q／スマートフォンやクレジットカードがないとポイント還元は受けられませんか？

A／スマートフォンでのQRコード決済やクレジットカード決済のほか、各種プリペイドカードの電子マネーも対象としていきます。店舗で対応できる手段が異なりますので、利用するとき確認してください。

Q／対象店舗の登録はいつまでですか？

A／今年4月末まで登録申請が可能です。

当事業に関する相談・問い合わせ

キャッシュレス・消費者還元事業事務局（消費者向け）	☎0120-010975
ポイント還元問合せ窓口（店舗向け）	☎0570-000655
市消費生活センター	☎757-3740
市産業政策課	☎757-3139

メリット

消費者は

対象店舗でキャッシュレス決済をしたとき、原則として購入金額の5%、フランチャイズチェーン傘下の中小・小規模店舗などでは2%の還元を受けることができます。

店舗は

- キャッシュレス決済を行うために必要な端末の導入・設置費用が無料になります
- カード会社などの決済事業者に支払う決済手数料が実質2.17%以下になります
- ポイント還元により集客力の向上が期待できます

キャッシュレス決済・消費者還元事業ホームページ
<https://cashless.go.jp/>



消費増税対策

プレミアム付商品券も販売中

市では、消費増税が低所得者・子育て世帯の消費に与える影響を緩和するとともに、地域における消費を喚起・下支えするため、低所得者・子育て世帯向けのプレミアム付商品券を販売中です。ぜひ購入してください。

閼福祉課（☎757-9739）



2020年度 越後妻有文化ホール・サポーターズ「段サポ」募集

会員になってもっと段十ろうを活用しませんか

●●●●●問合せ：越後妻有文化ホール「段十ろう」 ☎757-5011

Pick Up

1 チケット先行販売

一般販売開始より先にチケットを購入できます

3

会員割引

当館窓口でチケット購入するときに利用できる500円割引券が、個人会員は1口2枚、法人会員は1口4枚付きます

【会費】

●個人会員＝1口 2,000円

●法人会員＝1口 5,000円

【申し込み方法】

当館窓口で申込書を記入し、会費を支払ってください。その場で会員証を発行します（そのほかの申し込み方法は問合せ）。

2

イベント情報など発信

電子メールでイベントや先行販売など、お得な情報をお知らせします

4

使用料減免

当館ホールの練習使用料が1時間1,000円になります
※使用には練習用申込書の提出が必要

写

の

情報

ものまねタレント「コロケ公演」のチケット先行販売を3月上旬から開始します。先行販売を希望する人は、2020年度の会員登録をお願いします。公演の詳細は、市報2月10日号でお知らせします。

来年度の会員制サポーターを募集します。お得な特典やサービスもありますので、ぜひ入会してください。
※2019年度会員の皆さんには別途案内を郵送しますお得な
段
サ
ポ
特典

Serialization corner 連載コーナー

地元から芸術祭を盛り上げよう!!
地元サポーター・こへび隊
活動日誌

JISAPO

Facebookあります



こへび隊

地元
サポーター
こへび隊通信
40

地元サポーター活動PR

11月10日(日) 越後妻有文化ホール「段十ろう」
および市民活動センター「分じろう」

「めっかめっか 2019」、「とおか市」に初参加

地元サポーターの交流&PRチームでは、今回「めっかめっか2019」と「とおか市」に参加し、活動のPRや大地の芸術祭グッズ販売を行いました。

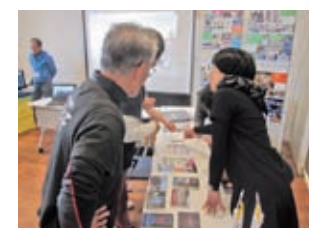
段十ろうでは、活動を紹介する写真展示や映像放映を行い、地元サポーターへ登録してくれた人にオリジナルトートバッグをプレゼント。また、グッズ販売と、「越後妻有 雪花火」の鑑賞券が当たる抽選会も実施しました。分じろうでは、アーティストYORIKOさんの屋台で地元高校生とコラボし、市街地を練り歩きながらお菓子を販売しました。

2つとも大盛況で、30人を超える人から地元サポーターに新規登録してもらいました。ぜひ来年も参加したいです。

■問合せ＝観光交流課芸術祭企画係 ☎757-2637



段十ろうにて

訪れた人に
地サポの活動を紹介分じろうでは
高校生がアーティスト
とお菓子を販売地サポ登録者にトート
バッグをプレゼント

樋口 智史さん（西浦西・30歳）

県内の専門学校を卒業し、法人用携帯電話、家具販売、保険などの営業職を経験。その後同社へ入社し、広告やイベント企画などの営業を務める。

掲載希望
事業所を
募集します!!問産業政策課
商工振興係
☎757-3139

わたしの会社のいちおし・ワーカー

vol.20

語る 仕事・会社・
十日町市への思い

Q3

これまでの努力や苦勞は？

同じ商品・サービスでも、広告の出し方で印象が変わります。広告主の思いを形にし、広告する商品・サービスに期待をしている皆さんのことも考えなければ、良い広告を作ることができません。そのため、日々アンテナを張り、新しい情報を収集しています。

Q4

この仕事で培った技術ややりがいとは？

広告を出稿いただき、喜んでいただけたときはもちろんですが、私の営業が縁で新しい人のつながりができ、新しい仕事に発展することがあります。そんなときは特に、この仕事をしていて良かったと感じます。



営業のほかラジオでミニコーナーも持っています

Q5

次世代の若者にエールを！

人との出会いを大切に、たくさんの人と話してみてください。交友関係を広げるとさまざまな考え方に触れることができ、それらは自身の成長を促す、貴重な財産になります。

協
企
業

■株式会社エフエムとおかまち



- 放送業、広告業
- 従業員数8人
- 十日町市本町六の一丁目71番地2 キナーレ2階 ☎752-7830
- 来年、開局15周年を迎えます。これからも情報の力で、ふるさと十日町に幸せや感動をもたらすよう努力してまいります。

表彰おめでとうございます

文部科学大臣表彰

（令和元年度障害者の生涯学習支援活動）

同会は、十日町小・十日町中・ふれあいの丘支援学校のPTAや地域の支援者に支えられながら、自主・独立の会として「共生」の理念に基づき、交流や協力および支援活動を行っています。花火大会やクリスマス会などの活動と交流の場は、児童生徒が自己肯定感を高め、社会的自立を行う一助となっています。柳典孝会長は、「障がいのある子もない子と共に学び・育つ姿が、この会の原動力になっています」と話してくれました。



十小・十中・ふれあいの丘 ほほえみの会

※写真左から小網輝夫ふれあいの丘支援学校長、藤巻優樹前会長、柳会長、山岸一朗十日町小学校長



農林水産大臣賞

（令和元年度全国優良畜産経営管理技術発表会）

血縁関係のない創業者から養豚業を引き継いだことや、地域ぐるみの衛生対策に取り組んでいること、さらに若手農家の中心的な存在として、仲間とともに開催する勉強会や地域農業の活性化に尽力していることなどが評価されました。代表取締役の田中真さんは、「今回の受賞は、丸山隆太前社長の功績によるものであり、これからが私にとっての本当のスタートだと思っています」と話してくれました。

有限会社 花田養豚場
（写真は田中代表取締役）



経済産業大臣表彰

（統計功労）

経済産業省が所管する、工業統計調査・経済センサスなど国の基幹調査に、統計調査員として通算15回以上従事された功績により、表彰されました。柳さんは「調査に協力していただいた方はもとより、市統計担当者のご指導、そして家族の協力のおかげだと思っています」と話してくれました。

柳 邦男さん
（74歳・新座4-1）

県知事表彰

（緑化功労者）

同校では戦後間もない昭和25年11月から、地域とともに学校林づくりを進めています。現在まで70年近くなるこれらの活動が、世代を超えて脈々と受け継がれていることなどが評価されました。生徒会長の高野紘佑さん（3年）は「地域と一緒に大切にしてきたことが表彰され、うれしいです」と喜びを語りました。



学校林整備作業の様子（氷沢中学校提供）

氷沢中学校（根津弘志学校長・生徒113人）

県知事賞

（県発明工夫模型展・模型の部）



藤原 維吹さん
（十日町小5年）

「協力してもらった家族と喜びを分かち合いたいです」と喜びを語った藤原さん。段ボールを貼り合わせ、この地の河岸段丘を2万5,000分の1の縮尺にした立体地図、「十日町の河岸段丘」を作成しました。社会の授業で地形を学び、十日町地形を知りたくなり、この作品を作ったそうです。

県知事賞

（県発明工夫模型展・発明工夫の部）



村山 稜真さん
（下条小2年）

風呂の天井掃除のとき、洗剤が上から落ちて困っている母の姿を見て、「自分にかからないせんざいカバー」を発明しました。透明の部品を使うことで作業を確認しやすくするなど、使う人のことを考えたさまざまな工夫も凝らされています。村山さんは「お母さんも喜んでくれました」と話してくれました。

風呂の天井掃除のとき、洗剤が上から落ちて困っている母の姿を見て、「自分にかからないせんざいカバー」を発明しました。透明の部品を使うことで作業を確認しやすくするなど、使う人のことを考えたさまざまな工夫も凝らされています。村山さんは「お母さんも喜んでくれました」と話してくれました。

関係者一丸で飲酒運転根絶を

12月9日(月)：十日町警察署

忘新年会など、お酒を飲む機会が増えるこの時期、郡市交通安全対策協議会（会長：関口市長）では飲酒運転根絶のため、「飲酒運転POPでSTOPキャンペーン」を実施しています。この日関係者が集い、当キャンペーン推進の式典を行いました。



今回作成したPOP



POPを受け取る小杉さん（写真左から2人目）

“POP”は広告の一種です。この取組みでは、独自に作成した“飲んだら乗るな！”と表示された人の手が揺れるPOPを市内飲食店やコンビニエンスストアに掲示してもらい、飲酒運転根絶をPRするもの。式典で高橋十日町警察署長からPOPを受け取った、十日町食品衛生協会十日町分会長の小杉幸二さんは、「日ごろからお客さんには飲酒運転をしないように、呼びかけています。POPは帰るときに目に留まるよう、扉に掲示するつもりです。」と話してくれました。

活力ある地域社会づくりのため包括連携協定を締結

12月5日(木)：ラポート十日町

市は十日町農業協同組合グループ（十日町農業協同組合・㈱ラポート十日町・㈱ぴっとランド・社会福祉法人やまびこ：以下、JA）と「包括的連携協定」を締結しました。県内のJAと市町村では初めての包括的連携協定となるもので、JAが自己改革の柱の一つ「地域の活性化」を実践するために申し出たことをきっかけに、春から検討を進めてきました。

関係者が出席して行われた締結式では、農業振興、地方創生やエスディージーズSDGs（持続可能な開発目標）による地域づくりなど、幅広い分野で連携を行うことなどが確認されました。これまで以上に緊密な連携を図り、双方が有する情報やネットワークなどを活用することで、活力ある地域社会づくりの進展に期待が寄せられます。



東側から園舎外観を望む

新たな認定こども園の園舎が完成

12月21日(土)：土市1地内

市立氷沢小学校の東側に建設を進めていた、「認定こども園あおもり」の園舎が完成し、この日内覧会が行われました。同施設は、森の保育園と氷沢保育園を統合した認可定員135人の園で、社会福祉法人森の保育園により今年4月から運営を開始します。公募で決定した園名には、「氷沢保育園の水の青と森の保育園の森」、「やすらぎの色である青と子どもの遊び場の森」、「青や森は草木や作物、空、水など地元の自然の素晴らしさを表すもの」など、たくさんの願いが込められているそうです。園長を務める予定の宮沢希央さん（現森の保育園長）は、「未来を担う子どもたちとともに、園も一緒に成長していきたいです」と話してくれました。

「森の学校」キョロロ
1月16日～2月15日の里山体験プログラム

日時／テーマ
1月18日(土)・2月15日(土) 午後1時30分～4時／雪虫調査 (無料)
1月19日(日)・1月26日(日)・2月2日(日)・2月11日(火祝) 午後1時～2時30分／里山の生き物探検 定20人
1月25日(土) 午前8時30分～11時30分／定例探鳥会 (無料)
2月1日(土) 午前10時～正午／ブナの森ようちえん (無料) 定15組
2月8日(土) 午後1時～3時30分／昆虫コレクションサポーターズ (無料)
2月9日(日) 午前10時～正午／十二講 定20人、午後7時～8時／満月のブナ林探検 定10人

※小学3年生以下は保護者同伴

- 入館料＝500円、小・中・高生300円 (市内小・中学生は無料)
- 参加費＝500円、小・中・高生300円
- 集合場所・ 関キョロロ ☎595-8311

第61回 川治地区新年娯楽大会

日 2月2日(日)午後0時30分～5時ごろ※受付正午～

内 囲碁・将棋・花かるた・百人一首・麻雀※賞品・参加賞あり

対 市内在住の人※麻雀は高校生以下不可

￥ 高校生以上千円、中学生以下無料

他 申し込みの少ない種目は中止することがあります

㊄ 1月29日(水)

会・申・ 関川治公民館 (☎752-2223)

新寄席
入船亭扇辰落語会

【第28回初笑い上野寄席集】

日 1月18日(土)午後2時※開場午後1時30分

会 上野集会所

￥ 1800円 (前売り1500円)※飲み物・お楽しみ付

● チケット取り扱い・ 関食料品と惣菜の店・だいも (☎768-3630)

【第22回初笑い下条寄席】

日 1月19日(日)午後1時30分※開場午後0時30分

会 利雪親雪総合センター

￥ 1800円 (前売り1500円)、中学生以下千円

● チケット取り扱い・ 関下条公民館 (☎755-2004)

市特別職報酬等審議会

日 1月23日(木)午後1時30分

会 市役所本庁

内 議員報酬額、市長・副市長・教育長の給与などについて 関総務課人事係 (☎757-9787)

クロアチア映画「ヴァトレニククロアチアの炎」スペシャル上映会

ヴァトレニ(炎の男)の愛称を持つサッカークロアチア代表チームの活躍と、彼らから

まちなかステージ 1月15日～2月14日の行事予定表		
月	日	内 容
1月	2月14日(金)まで	唐津焼 (中世展示品数点) ●時間＝午前9時～午後5時 会分じろう：まちの文化歴史コーナー HAKKAKE
	17日(金)	まちなか食堂 (NPOひとサポ) ●時間＝午後6時～8時 ￥100円 会分じろう：ルーム1・2
	18日(土)	十日町おもちゃ病院 (市社会福祉協議会) ●時間＝午前10時～午後3時 (受付午後2時まで) 会分じろう：ルーム1
	25日(土)	とおか市 (NPOひとサポ) ●時間＝午前9時～午後1時 会分じろう：マーケット広場
	25日(土)～2月2日(日)	おーい! 昔 挿絵原画展 (NPOひとサポ) ●時間＝午前9時～午後10時 (2月2日は午後6時まで) 会十じろう：ギャラリー
	26日(日)	みつろうアロマワックスバー作りと風邪予防ハーブティー講座 (NPOひとサポ) ●時間＝午前10時～※要予約 会分じろう：ルーム2 ￥1,500円
2月	8日(土)	WRAPクラス (NPOハートケアぼちぼち) ●時間＝午後2時～4時※要事前申込 会分じろう：ルーム2 ￥200円
	9日(日)	タペストリー展・カードゲームの集い (アニメフレンズ) ●時間＝午前10時～午後6時
	10日(月)	とおか市 (NPOひとサポ) ●時間＝午前9時～午後1時 会分じろう：マーケット広場
	14日(金)～16日(日)	雪まつり色紙展 (書道協会) ●時間＝午前9時～午後10時 (16日は午後3時まで) 会十じろう：ギャラリー

関市民交流センター「分じろう」(☎750-7770)
市民活動センター「十じろう」(☎750-7771)

百人一首を楽しむ会

日 2月22日(土)午後0時30分～4時30分※受付正午～

会 クロステン

￥ 千円、高校生以下無料

㊄ 2月17日(月)

申・関万葉の会 (北越こども園内・☎757-3860)

十日町福祉会 法人発表会

日 2月19日(水)午後6時～8時15分

会 越後妻有文化ホール「段十ろう」

内 職員による高齢施設・障害施設・こども園の年間の取り組み発表

関社会福祉法人十日町福祉会 (☎761-7340)

第12回 縄文楽検定

「縄文」と「火焰型土器」をテーマにした縄文検定(初級・中級)を実施します。検定内容などは問い合わせてください。

日 3月1日(日)初級…午後1時30分～2時20分、中級…午後2時40分～3時40分

会 情報館

林修講演会「鈴木牧之のふるさとで想うこと」

昨秋、台風の影響で延期した講演会を開催します。雪の価値を再確認し、「北越雪譜」の世界観、雪国の発展の方向性を一緒に考えませんか。

日 2月2日(日)午後2時～

会 南魚沼市市民会館大ホール

定 1200人

㊄ 1月15日(水)

申・関往復はがき(1枚につき2人まで申込み可)で949-6680南魚沼市六日町865番地 南魚沼市社会教育課文化振興係「林修講習会」係へ (☎025-773-3756)

募集

十日町税務署 アルバイト職員募集

●雇用期間／内／時給

①1月下旬・2月中旬～3月下旬午前9時～午後5時の間で5・5時間／書類整理、パソコン入力など／900円

②2月上旬～3月中旬午前9時～午後5時の間で5・5時間または6・5時間／申告会場のパソコン操作補助など／910円

※いずれも休憩1時間あり

対 パソコン操作ができる人 (面接時にパソコン操作の簡単な実技試験を実施)

定 初級・中級各50人

㊄ 2月14日(金)必着

申・関往復ハガキの往信欄に希望する検定級、住所、氏名、電話番号を、返信欄には送付先の郵便番号、住所、氏名を明記して、〒948-0072十日町市西本町1丁目448-9博物館へ (☎757-5531)

段十ろう 2月のホールイベント予定

日	内 容
15日(土)	第71回 十日町雪まつりスペシャルステージ ※詳細は10ページ
16日(日)	十日町きもの女王コンテスト2020 ●時間＝午後1時～
19日(水)	十日町福祉会 法人発表会 ※詳細は23ページ
23日(祝)	アマチュアバンドコンサート ●開場時間＝午後1時 ●前売券500円 (当日券600円)

●利用申込時に掲載を希望したイベントのみお知らせします
●段十ろうホームページ、Facebookでも情報を随時お知らせしています

関越後妻有文化ホール・十日町市中央公民館
「段十ろう」(☎757-5011)

【農業委員・農地利用最
適化推進委員募集】

●業務内容Ⅱ農地に係る許認可、農地利用の集積・集約化推進など

●報酬Ⅱ月額3万5200円

定24人

●任期Ⅱ令和2年7月20日～令和5年7月19日

【農地利用最適化推進委員】

●業務内容Ⅱ農地利用の集積・集約化推進、農地利用状況の調査など

●報酬Ⅱ月額3万2500円

定33人以内

●任期Ⅱ令和2年7月の委嘱日～令和5年7月19日

（共通）

☎農業に関する識見を有し、職務を適切に行うことができる人

生涯学習人材バンク「学びあい」の登録者募集

- ☎生涯学習活動に関するさまざまな特技や技術・知識などを有し、生涯学習に対して深い理解や熱意を持って指導できる人や団体※身分を利用して、政治的活動や宗教活動および営利活動は認められません
- 登録分野＝文化芸能・スポーツ・福祉・農業や園芸・そのほか学習
- ☒1月31日(金)
- 更新日＝4月1日(水)
- 留意事項＝人材バンクに登録すると、相談者に対して個人情報を提供します。また、氏名と指導内容をホームページへ掲載します（住所や電話番号は掲載しない）。登録しても相談者の意図する内容と合致しないときは、依頼があるとは限りません。
- ☎・☎登録申込書（市ホームページから入手可）を生涯学習課（☎757-5011）、各地区公民館へ

令和2年度 十日町市奨学生を募集します（貸与型奨学金）

- ☎令和2年度に、高等学校・高等専門学校・専修学校・大学（短大を含む）に進学予定または在学中で、次の全てに該当する人
- ・保護者が市内に住所を有していること
 - ・学業成績が優秀であること
 - ・経済的な理由で学資の支払いが困難なこと

●奨学金月額

高等学校	10,000円
高等専門学校	20,000円
専修学校	30,000円
大学・短大	35,000円

●入学準備金（令和2年度入学予定者のみ）

高等学校	200,000円
高等専門学校	300,000円
専修学校	300,000円
大学・短大	500,000円

- 貸与期間＝令和2年4月から最短修業年限の終わりまで（無利子）

●提出書類

- ①奨学金等貸与願書
- ②在学（卒業）学校長の推薦書
- ③成績証明書
- ④世帯の中に平成31年1月2日以降に市内に転入した人（ただし、小・中学生や高校生以上の学生は除く）がいるときは、その人の分の平成31（令和元）年度（平成30年分）所得課税証明書

※①と②は教育総務課・本庁子育て支援課・市内中学校・郡市内高等学校に用意してあるほか、市ホームページでも入手可

※④を本人以外が窓口で請求するときは委任状が必要

☒2月28日(金)※必着

●留意事項

- ・本庁子育て支援課でも願書の提出ができます
- ・内定の合否は3月末までに通知します
- ・借り入れ時には連帯保証人が2人必要です。1人は保護者、1人は原則として市内居住世帯を異にする独立した生計を営む成年者で、返済能力を有する人です

☎・☎教育総務課庶務係（川西庁舎内☎757-3118）

☎日時 ☎休館日 ☎会場 ☎対象者 ☎料金（記載がないときは無料） ☎定員 ☎内容
☎持ち物 ☎講師 ☎その他 ☎締め切り ☎申し込み ☎問い合わせ ☎FAX

●【施設内訓練科（一般選考④）】
募集科／☎電気施設科／10人、木造建築科／15人、エクステリア左官科／10人

●出願期間Ⅱ1月24日(金)～2月7日(金)

●【2月3日(月)（栽培開始が4月～8月のもの）】
申・☎農業振興事務支援センター（JA十日町営農生活センター内・☎761-7144）

●2月3日(月)（栽培開始が4月～8月のもの）
申・☎農業振興事務支援センター（JA十日町営農生活センター内・☎761-7144）

●2月3日(月)（栽培開始が4月～8月のもの）
申・☎農業振興事務支援センター（JA十日町営農生活センター内・☎761-7144）

令和2年度入校生募集
市高等職業訓練校

在職者・求職者の職業能力開発を支援するため、次の内容で実施しています。

●科目Ⅱ建築製図科（2級建築士養成）、コンピュータ科、ワープロ科、表計算科、経理事務科、測量科、建築科（1級技能士養成）、建築CAD科

●受付時間Ⅱ午前8時30分～午後5時※(土)・(日)・(祝)除く

☒3月19日(木)

申・☎入校申込書と証明写真1枚（建築製図科のみ）を市高等職業訓練校へ（☎752-3803）

「とおかまち発」新しいビジネスが生まれます

12月21日に、十日町市ビジネスコンテスト「トオコン2019」が開催され、「創業部門」、「学生アイデア部門」の2部門においてビジネスプランが発表されました。幅広い年代から、事業化を目指した熱いプレゼンテーションが繰り広げられ、会場は盛り上がりしました。結果は以下のとおりです。今後は、発表者により事業化が進められます。

●結果＝プラン名／発表者（敬称略）

創業部門	最優秀賞	6次産業化を応援することを目的としたチャレンジ加工施設の建設／越後妻有のごちそう家 ごったく 福島恭子
	優秀賞	人と自然が共に育ちあう村を目指して／農事法人組合 ふれあいファーム三ヶ村 中島弘智
学生アイデア部門賞		美人なめこ／新潟大学チーム JAMSUKE ^{ジャムスケ} （代表 池田悠輔）

※公式ホームページ（<http://toocon.jp/>）でも紹介しています。受賞プランのほか、トオコン出場プランの事業化には、市の補助金が活用できます

☎産業政策課商工振興係（☎757-3139）

申・☎履歴書（3か月以内に撮影した正面向きの写真を貼付）を持参または郵送で、〒948-8502十日町市本町1丁目上1番地18十日町税務署総務課・石黒へ（☎752-3181）

※詳細問合せ

令和2年度
新潟県特別栽培農産物
認証申請受付中

【パソコン経理事務科】

☎2月21日(金)～6月19日(金)午前9時30分～午後4時

【事務基本科3期】

☎3月4日(水)～6月3日(水)午前9時～午後3時40分

（共通）

☎県立魚沼テクノスクール（☎025-794-2410）



●募集期間〓1月31日(金)〓3月2日(月)※必着

●選考方法〓書類選考のほか、必要に応じて面接

●申・関推薦書・応募届を持参または郵送で〒949-8492十日町市上山己2133番地 農業委員会事務局へ(市役所中里支所内・☎763-2515)

※推薦者などは農業委員会事務局および本庁・各支所内農業委員会事務所のほか、市ホームページで入手可

関東森林管理局
国有林モニターの募集

モニターの皆さんには、広報誌などを送り、アンケートへの回答や、現地視察への出席などを依頼します。詳細は関東森林管理局ホームページ(<http://www.rinya.naff.go.jp/kanto/kikaku/kokuyuurinmonita.html>)をご覧ください。

●関東森林管理局国有林モニター担当係(企画調整課内・☎027-210-1150)

福祉・健康



2月の全血献血

2月は予定していません。

●健康づくり推進課母子保健係(☎757-9759)

応急手当講習会 救命入門コース

●2月8日(土)午前9時〓10時30分
●定30人
●内心肺蘇生法、AEDの取り扱い
●会・申・関消防本部警防課救急室(☎757-1558)

「健康とくらしの調査」
にご協力ください

新潟大学・国立長寿医療研究センター・日本老年学的評価研究プロジェクトと協定を結び、市内の高齢者を対象にアンケート調査を実施します。市が計画している第8期介護保険事業計画策定の資料とするとともに、皆さんの健康状態や暮らし方などを把握し、介護予防などに役立てます。対象となった人には、1

催し・講座

募集

福祉・健康

子育て

スポーツ

くらし・相談

くらし・相談



1月の納税・納付

1月は国民健康保険税第7期、後期高齢者医療保険料および介護保険料第10期の納付月です。期限(1月31日(金)内に納めましょう。

●国民生活課(☎757-3735)・医療介護課(☎757-3757)

2月の休館日

●段十ろう〓10日(月)・24日(月)
●千手中央コミュニティセンター〓毎週(火)・23日(祝)
●情報館〓3日(月)〓10日(月)・24日(月)
●博物館〓6月初旬まで休館
●まつだい郷土資料館・まつだい雪国農耕文化村センター(まつだい農舞台)〓毎週(水)
●市総合体育館〓18日(火)
●川西総合体育館〓26日(水)
●なかさとアリーナ(中里体育館)〓11日(祝)
●ドーム中里きらら〓休館
●松代総合体育館〓毎週(月)

●ひだまりプール〓11日を除く毎週(火)
●キヨロロ〓4日(火)・12日(水)・18日(火)・25日(火)
●分じろう〓毎週(火)
●十じろう〓毎週(火)

未来の農林業を育てる
統計調査に協力を

2月1日を基準に、全国一斉に「2020年農林業センサス」が実施されます。調査票の記入内容は厳重に保護されます。調査の趣旨・必要性を理解いただき、回答に協力ください。

●農林業センサスとは〓農林業の国勢調査といわれ、5年ごとに実施されます。農林業・農山村の動向を地域ごとに明らかにして、若者たちが農林業経営にチャレンジできる仕組みや活力ある農山村づくりなど、次世代に継承する施策の企画・立案に活用されます。

●調査票の配布と回答方法〓1月中旬から調査員(農家組長など)が調査対象となる人の自宅や事業所を訪問し、調査の依頼を行います。

「新潟県の雪情報」を
利用してください

県では、降雪量予測情報などをホームページやスマートフォン専用サイトで提供しています。詳しくは、インターネットから「新潟県の雪情報」で検索してください。

●期間〓毎年12月1日〓翌年3月31日まで
●サービスの内容

●県内37地点の降雪量予測、気象状況などがわかります
●降雪量予測は1日2回(午前10時・午後4時)更新します
●登録した地点で10センチ以上の降雪が予測されたとき、メールで通知が届くサービスもあります

●県地域政策課雪対策室

(☎025-280-5096)

冬季無災害運動実施中
ストップ転倒災害

多発するところは、駐車場から事務所・作業場までの路面、事務所・作業場の出入口、段差・スロープなどです。す

館の職員に返却。

●情報館(☎750-5100)

農業用免税軽油の申請手続き

●農業用トラクター、コンバインなどに使用する軽油は、1リットルあたり32・1円の軽油引取税を免除する制度があります。この申請を次のとおり受け付けます。なお、国税または地方税の滞納処分を受けてから2年を経過していない人などは、申請を受け付けることができません。

●2月19日(水)・20日(木)午前9時〓正午・午後1時〓午後4時

●会十日町地域振興局

提出書類(初めての入)

●農機の所有証明(販売店が発行する販売証明など)およびカタログ※用意できないときは事前に相談
●耕作面積証明書(農業委員会が発行するもの)
●印鑑

●450円分の県収入証紙(十日町地域振興局では販売していません)

※引き続き申請する人は別途案内を郵送

●他免税が認められる軽油の量は、耕作面積などに応じた制限があり、平成33年3月までの特例措置です(制度の詳細などは問合せ)

●関南魚沼地域振興局県税部十日町収税課(☎757-5513)

市民生活課からのお知らせ

●【国民年金保険料 前納申出期限(口振)が迫っています】

4月から口座振替にて前納振替(6か月分・1年分・2年分)を始めるためには、2月末までに申出することが必要です。まとめて支払うことで、割引された保険料が適用されます。

●特通帳、届出印、年金手帳、免許証

【国民年金保険料の社会保険料
控除証明書が発送されます】

10月1日〓12月31日に、その年初めて国民年金保険料を納めた人に対し、2月上旬以降、日本年金機構から社会保険料控除証明書が発送されます。令和元年分の確定申告に使用するものとなるので、大切に保管してください。また、

催し・講座

募集

福祉・健康

子育て

スポーツ

くらし・相談

2月のちびっこひろば

すこやかランド

今年度の活動は終了しました。
☎段十ろう (☎757-5011)

なかよしランド

25日は「ひなまつり」。
☎4日(火)・18日(火)・25日(火)
午前10時～11時
会 サンクロス
対 未就園児とその保護者
☎段十ろう (☎757-5011)

いっしょにあそぼ

☎6日(木)・13日(木)・20日(木)
午前10時～11時
※27日は会場のみ自由開放
対 未就園児とその保護者
会・☎水沢公民館
(☎758-3101)

橘にこにこルーム

7日は「春を呼ぶ集い」。
☎7日(金)・21日(金)午前9時
30分～11時30分
会 川西高齢者コミュニティセ
ンター
対 未就園児とその家族
☎子育て支援センターえくぼ
(☎768-2352)

わらべっこ

2月はお休みです。
☎服部 (☎090-6968-3110)

ぼぼっこひろば

遊び場を提供しています。
☎毎週月・水曜日午前10時
～午後3時
会 川西福祉センターはあとふ
る川西
他 飲食持ち込み可
☎川西地域振興会
(☎768-4951)

十日町おやこ劇場

「わくわく・キッズ」
☎6日(木)・20日(木)午前10時
45分～
会 段十ろう
¥1回無料※2回目から300円
持 飲み物・着替え
☎丸山 (☎090-2548-0507)

おはなしの会「ふきのとう」

☎15日(土)午前10時～10時30分
対 乳幼児～小学3年生くらい
会・☎千手中央コミュニティ
センター (☎768-2308)

おはなしひろば

2月はお休みです。
☎中里公民館 (中里庁舎内 ☎
763-2493)

読み聞かせの会「どんぐり」

2月はお休みです。
☎情報館 (☎750-5100)

おはなし「たまてばこ」

☎13日(木)午前10時～11時
対 乳幼児とその保護者
会・☎情報館 (☎750-5100)

おはなしぴよぴよ

☎1日(土)・15日(土)・22日(土)・
29日(土)午前10時30分～11時
対 乳幼児とその保護者
対 幼児～小学生
会・☎情報館 (☎750-5100)

おはなしたんぽぽ

☎8日(土)午前10時30分～11時
対 幼児～小学校低学年
会・☎情報館松代分室
(☎597-2615)

寄付ありがとう ※敬称略

- とおかまち応援寄附金＝遠藤八十一 (本町5)、丸山秀二 (稲葉)、大熊勝 (四日町中原)、俵山宏行 (大黒沢3)、池田覚 (下条本町)、富井政春 (千溝)、小川新一 (堀之内)、池田和幸 (四日町新田2)、相馬博 (木落)、樋口正幸 (津南町)、樋口康之 (原)、関口悦夫 (宮下町東)、井沢努 (四日町新田2)、小林克之 (本町7-2)、森口敬造 (津南町)、市村太一 (伊達4)、丸山浩 (稲葉)、西野正光 (住吉町)、山崎平三 (東京都足立区)、大島肇 (西寺町)、飯塚義一 (千葉県船橋市)、相澤傑 (東京都西東京市)、鉢呂大介 (札幌市)、神津幸則 (山梨県山梨市)、入江靖 (東京都杉並区)、佐藤正典 (東京都文京区)、大嶋豪 (埼玉県深谷市)、樋口基雄 (東京都八王子市)、森和也 (神戸市)、細川勝徳 (東京都三鷹市)、中原茂 (神奈川県鎌倉市)、遠藤千津子 (新潟市)、高橋功 (新潟市)、高橋潔 (千葉県我孫子市)、西澤泉 (横浜市)、綿貫秀夫 (東京都板橋区)、山内裕 (滋賀県大津市)、二森浩行 (川崎市)、今井等 (東京都杉並区)、設楽明子 (新潟市)、行實麻衣子 (福岡県大野城市)、石田廣行 (埼玉県三芳町)、杉山雅彦 (東京都品川区)、目黒雅也 (川崎市)、エリソンアントニー (東京都渋谷区)、桑原利幸 (東京都武蔵野市)、高橋良久 (東京都江戸川区)、安藤幸子 (北九州市)、金澤茂男 (神奈川県平塚市)、上保亜矢 (埼玉県志木市)、樋口茂 (東京都板橋区)、田中直哉 (東京都江戸川区)、長澤丈 (東京都江東区)、荘司カオル (茨城県水戸市)、野部達夫 (埼玉県所沢市)、北内えりな (大阪市)、村山富美子 (千葉縣市川市)、三森謙一 (東京都町田市)、小関由和 (東京都大田区)、小松幸弘 (山形県中山町)
- 情報館分＝繁城山法音寺 (南魚沼市)、関口郁民 (川原町)、増田活己 (新座3)
- 交通遺児等援助基金寄付金＝十日町高等学校定時制課程生徒会
- 発達支援センター＝イオンリテール株イオン十日町店 (療育教材および玩具ほか)
- 社会福祉施設＝矢口邦治 (木工芸品：干支60個)

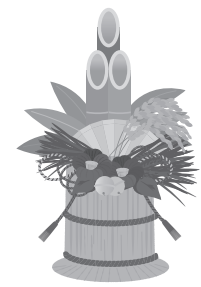
アプリ マチイロ で 市報とおかまち電子版を配信中

QRコードからダウンロードしてご利用ください (無料)



※閲覧中に表示される広告について、市はその内容に一切の責任を負いません

市は十日町音声訳サークルに市報とおかまちの音声訳化を委託し、ホームページでも公開しています。詳しくは企画政策課広報広聴係(☎757-3112)へ問い合わせてください。



〔情報館〕2月のテーマ図書

※テーマは一部変更したり追加したりすることがあります
☎情報館 (☎750-5100)

一般向け

あなたに伝えたい「愛なき世界」、「母の恋文」など、さまざまな形の愛や恋をテーマにした本を紹介します。
健康一番「調子いい!がずっとつづくカラダの使い方」、「バランスごはん」など、健康について考える本を紹介します。

児童向け

あま〜い おかし「モグモグのおかしやさん」、「クッキーくろくま」など、お菓子が出てくる本を紹介します。
ほかほか、ぬくぬく「おひざでだっこ」、「ぬくぬく」など、あったかい気持ちになる本を紹介します。

働くことに悩む人の
ワン・ステップ相談

教育相談

女性相談専用電話

べりやすいところには、マッ
トを敷いたり、注意表示を提
示したりするなど、転倒災害
防止対策を行います。
☎新潟労働局労働基準部健康
安全課 (☎025-288
-3505)

会 保健センター(市役所本庁隣)
申・☎福祉課福祉支援係
(☎757-9739)

☎2月13日(木)・27日(木)両日と
も午前10時～正午※開催日
以外も随時相談可

☎月々金曜日午前9時～午後
4時(祝日・振休除く)
会・☎教育相談センター(丸
山町 ☎752-7565)

☎月々金曜日午前8時30分～
午後5時15分(祝日・振休
除く)
●相談 ☎757-3701
(市民生活課市民係内)

◆2月の健康・福祉の相談

保健師による健康相談

日 3日(月)午前9時30分～11時30分
会 保健センター（市役所本庁隣）
申・問 健康づくり推進課成人保健係
（☎757-9764）

精神科医こころの健康相談

日 5日(水)午後2時～4時
会 中里支所
☎ 3日(月)
申・問 十日町地域振興局健康福祉部
（保健所・☎757-2402）

臨床心理士こころの相談会

人間関係や家庭問題などの悩みを相談できます。
日 27日(木)午後1時～3時
会 保健センター（市役所本庁隣）
☎ 25日(火)
申・問 健康づくり推進課成人保健係
（☎757-9764）

遺族の集いと健康相談

日 4日(火)午後2時～3時30分
会 松代病院
申・問 十日町地域振興局健康福祉部
（保健所・☎757-2402）

アルコール問題を抱える人の集い

日 13日(木)午後2時～3時30分
会 松之山支所
申・問 十日町地域振興局健康福祉部
（保健所・☎757-2402）

手話奉仕員窓口配置

日 5日(水)・19日(水)午前11時～午後3時
会・問 福祉課（☎757-3782）

発達支援に関する相談

日 月～金曜日午前8時30分～午後5時15分（祝日・振休・年末年始を除く）
対 18歳まで
問 発達支援センター（☎752-7270）

◆2月のそのほかの相談

行政相談

日／会 7日(金)午前10時～正午／本庁相談室、19日(水)午後1時30分～3時30分／はあとふる川西、20日(木)午前10時～正午／中里庁舎
問 市民生活課市民係（☎757-3116）

法律相談

日 6日(木)・13日(木)・20日(木)・27日(木)午後1時30分～4時
会 本庁相談室
申・問 市民生活課市民係
（☎757-3116）※要予約

2月の休日救急医

NHKデータ放送でも確認できます

●診察受付時間：午前8時30分～午後4時30分
（午後の診察開始時間は各医療機関に問い合わせてください）

期 日	医療機関名	住 所	電話番号
2日(日)	国保川西診療所	高原田（川西）	768-2034
	山 口 医 院	下条中央通り（十日町）	755-2003
9日(日)	国保川西診療所	高原田（川西）	768-2034
	池 田 医 院	本町西1（十日町）	752-2581
11日(火)(祝)	国保川西診療所	高原田（川西）	768-2034
	大 坪 医 院	四日町新田2（十日町）	757-6100
16日(日)	国保川西診療所	高原田（川西）	768-2034
	大淵内科クリニック	中条中町（十日町）	752-7155
23日(日)(祝)	国保川西診療所	高原田（川西）	768-2034
	た か き 医 院	土市5（十日町）	758-2361
24日(月)(振)	国保川西診療所	高原田（川西）	768-2034
	大 熊 内 科 医 院	山本町1（十日町）	752-7066

※12月から3月は休日当番医院でも診療を行っています

休日救急では、急な発熱などで具合が悪くなったときに、応急手当を受けられます。保険証を忘れずにお持ちください。予防接種や登園登校許可証の記入はできません。

問 医療介護課（☎757-9758）

電話による健康相談

とおかまち健康ダイヤル24
☎0120-108-221（市民専用）
※24時間・年中無休
※通話・相談無料
専用ダイヤル登録用QRコード



新潟県こころの相談ダイヤル

☎0570-783-025
※24時間・年中無休

救急医療電話相談(概ね15歳以上)

☎ #7119
日 毎日午後7時～翌朝午前8時
内 急な病気やけがなどに関する相談

小児救急医療電話相談(15歳未満)

☎ #8000
日 毎日午後7時～翌朝午前8時
内 急な発熱やけがなどに関する相談

教育相談・女性相談専用電話は28ページをご覧ください

定例年金相談

日 13日(木)・27日(木)午前10時～正午、午後1時～3時
会 クロステン
申・問 日本年金機構六日町年金事務所
（☎025-716-0802）※要予約

消費生活相談

日 月～金曜日午前9時～午後4時（祝日・振休・年末年始を除く）
対 悪質商法・買い物・契約で困っている人
他 面接相談は要予約
申・問 市消費生活センター
（☎757-3740・F752-6924）

多重債務相談

日 26日(水)午後1時～4時※21日(金)までに要予約
会 本庁相談室 内 借金トラブル
問 市消費生活センター（☎757-3740）
心配ごと相談

心配ごと相談

日 随時受付
会・申・問 社会福祉協議会
（☎750-5010）

生活困窮者相談

日 午前8時30分～午後5時15分（土・日曜日、祝日を除く）
会・問 社会福祉協議会（☎752-7338）

子ども情報のひろば

2月の乳幼児相談

〔健康相談〕

期 日	会場・受付時間
5日(水)	千手中央コミュニティセンター 午前9時30分～11時30分
13日(木)	松之山 子育て支援センター「[にこにこ]」 午前9時30分～10時30分
14日(金)	中里 子育て支援センター「[きらりん]」 午前9時30分～10時30分 松代 子育て支援センター「[すくすく]」 午前9時30分～11時30分
18日(火)	保健センター（市役所本庁隣） 午前10時～11時15分

問 健康づくり推進課母子保健係 ☎757-9759

〔育児相談ほか〕

期 日	受付時間	内 容
13日(木)	午前10時～11時30分	身体測定・栄養相談 ※身体測定のみ午後3時30分まで
25日(火)	午前10時～11時30分 午後は予約制（要事前連絡）	育児相談 ※身体測定は行いません

会・問 子育て支援センター「くるる」 ☎757-1008

離乳食教室

〔離乳のはじめてコース〕

日 2月18日(火)
対 5～6か月児
●受付＝午前9時45分～10時
※直接会場へおいでください
会 保健センター（市役所本庁隣）
持 母子健康手帳・筆記用具
問 健康づくり推進課母子保健係
☎757-9759

子どもをむし歯から守る ブラッシング相談

日 2月5日(水)午前9時30分～11時30分
会 千手中央コミュニティセンター
対 未就学児とその保護者
持 歯ブラシ・母子健康手帳・タオル
問 川西支所市民課市民係 ☎768-4956

2月の乳幼児健診

会 保健センター（市役所本庁隣）

持 母子健康手帳・問診票・フッ化物歯面塗布希望確認票（1歳6か月児）・視聴覚アンケート（3歳6か月児）・健やか親子21に基づくアンケート（4か月児・1歳6か月児・3歳6か月児）着替え・おむつなど

※3歳6か月児健診は事前に検査セットを送ります。届かない人は母子保健係へ連絡してください
※2歳6か月児の歯科健診は親子健診です。保護者も歯みがきをしてきましょう

事業名	期 日	受付時間	対象児
4か月児健診	26日(火)	午後1時～1時30分	元年10月 生まれの乳児
10か月児身体測定	27日(水)	午前9時～9時30分	31年4月 生まれの乳児
1歳6か月児健診	19日(火)	午後1時～1時30分	30年7月 生まれの幼児
2歳6か月児身体測定	19日(火)	午前9時～9時30分	29年8月 生まれの幼児
3歳6か月児健診	18日(火)	午後1時～1時30分	28年8月 生まれの幼児

問 健康づくり推進課母子保健係 ☎757-9759

あいどるきゃす 173



佐藤 掌伍ちゃん (2歳)
西本町2

わが家のアイドル（4歳未満の幼児）募集中！
申し込み・問い合わせは企画政策課広報広聴係
☎757-3112まで

5人きょうだいの末っ子の掌伍ちゃんは、ブロック遊びや戦いごっこが大好き。最近は自分でくつを履いたり、服を着たりできるように頑張っています。4人のお姉ちゃんたちは、掌伍ちゃんのオムツを換えたり、お風呂に入れたり、面倒を良く見てくれます。そんな家族の優しさに包まれ、毎日元気に過ごしています。

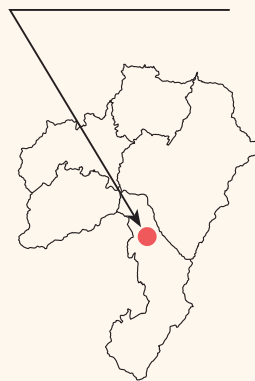
小さなムラの大きなものがたり

No.
20

活力ある地域社会を形成していくために、中里地域に軸を置き活動しています。地域資源である豊かな里山の自然と観光施設を活用し、来訪者と地域住民が交流できる体験などのイベントを開催することで、ファンの拡大に努めています。これらをもとに十日町に訪れるリピーターを獲得し、やがては移住・定住につながれることを最大の目標として活動しています。ほかに、地域の特性を生かした商品開発や6次産業の創出に取り組み、地域経済の活性化にも貢献したいと考えています。

さらに、これら活動の前提となる豊かな地域資源を次世代へ継承するため、自然環境や地域文化の保全、環境教育などを通じた啓発活動に取り組む予定です。地域の皆さんとともに、地域のために歩んでいきます。

特定非営利活動法人
スリージー
GGG



地域をにぎやかに！



特定非営利活動法人GGG
理事長
小針伸広

2013年10月に地域おこし協力隊として移住し、中里の倉俣地域を担当しました。任期後、地域の皆さんと地域活性の仕事がしたく、この法人を設立しました。現在は、清田山キャンプ場の管理やツールド妻有の事務局などを行っています。「この地域に来てよかった」と思われるよう、日々活動しています。



- ① 昨年2月に地域の若者と清田山集落近くの棚田で行ったイベントにて。子どもたちの笑いが響きました（②写真も同イベント）。
- ② スノーモービルでラフティングを引くアトラクション。スリルが楽しめ、大好評でした。
- ③ 昨年5月の小松原トレッキングの様子。
- ④ 事務局を行うツールド妻有。